

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

垣内 修

ご入学、進級おめでとうございます

4月1日に本校に着任いたしました学校長の垣内 修（かきうち おさむ）です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和3年度がスタートし、4月7日（水）に始業式、4月9日（金）に入学式を行い、1年生187名を迎え、全校生徒548名、各学年5学級、特別支援学級3学級の18学級となりました。

本校は、昭和二十二年に創立され、今年で七十四年目を迎える学校です。校訓を「友愛 自治 礼譲」とし、創立以来、多くの先輩たちのたゆまぬ努力と先生方のご指導、そして保護者や地域の方々の温かいご支援を得て、開校以来すばらしい伝統と校風を作り上げてきた学校です。

今年度、学校教育目標を「あらゆることに活力にあふれた生徒の育成」～自ら学び、自ら行動する生徒の育成～とし、目標を達成できるようあらゆる教育活動に取り組んでまいります。また、生徒が西中生としての誇りを持てるよう、家庭との連携を密に図りながらも地域に開かれた学校を目指し、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

学校教育目標

あらゆることに活力にあふれた生徒の育成
～ 自ら学び、自ら行動する生徒の育成

1 めざす学校像

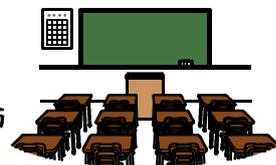
- (1) 自ら学習に励む生徒を育てる学校
- (2) 授業や行事、部活動などで自尊感情を育む学校
- (3) 安心して生活できる学校
- (4) 家庭、地域社会と連携する学校
- (5) 生徒一人ひとりの居場所となる楽しい学校

2 めざす生徒像

- (1) 進んで学習に励む生徒
- (2) 授業や行事、部活動に活力を持って主体的に取り組む生徒
- (3) 将来の夢や目標を抱き、その実現に向けて挑戦する生徒
- (4) 自尊感情と他者への思いやりの心を持つ生徒
- (5) 規範意識や基本的生活習慣が身に付いた生徒

3 めざす教師像

- (1) 教育に対する信念と情熱を持った教師
- (2) 生徒個々の良さを認め、生徒の心にふれる指導ができる教師
- (3) 授業改善を含め、自らの資質向上のため努力を重ねる教師
- (4) 生徒と一緒に楽しみ、活力を持ってあらゆる活動に取り組む教師
- (5) 地域の一員として常識ある社会人である教師



4月7日（水）、グラウンドで離任された先生方のメッセージをご紹介した後、着任式を行いました。その後、教室に戻り、リモートでの始業式、全校集会を行いました。

令和3年度 1学期始業式 式辞

令和3年4月7日

みなさん、あらためておはようございます。

先ほど離任された先生方のご紹介がありました。毎年のこととは言いながら、この時期には、「別れと出会い」があります。この毎年繰り返す、別れと新しい出会いの中で生まれる環境は、自分自身の毎日を新鮮なものにしてくれます。

こんな言葉があります。

「別れは過去の記憶を思い出に変える力があり、出会いは未来を変える力がある。」

尊敬すべき人との出会いは自分をより謙虚にし、守るべき人との出会いは自分をより勇敢にします。愛すべき人との出会いは自分をより優しくし、競い合える人との出会いは自分をより努力家にします。皆さんも、これからも人との出会いを大切にし、日々成長していってくれることを願っています。

さて、二年生、三年生のみなさん、進級おめでとうございます。

今日から皆さんは新しい学年となり、この西中学校を支える中心になっていきます。

新三年生は、最上級生として、すべての学校行事の牽引者となり、下級生に対し指導をしたり、この西中の伝統を伝える役割を担ったりします。さらに、義務教育最後の学年ということで、自分の進路を決め、大人になる本格的な扉を開けていかなければなりません。

新二年生は、新しく入学してくる一年生に、この西中学校での生活のことや、西中生としての心構えなどを直接的に教えていく役割を担います。また、二学期には三年生に代わり、生徒会や委員会、部活動などを引き継ぎ、引っ張っていかなければなりません。

そして、新しい仲間たちとのスタートを迎えるにあたり、今日は、皆さんに大切にしてほしい、頑張ってもらいたいこととお話しします。

それは、『リスペクトとケア』です。「リスペクトに根ざしたケアな人間関係」です。

「リスペクト」とは、相手への敬意と尊敬、互いの存在を大切にしようこと。

「ケア」とは、いたわりや癒し、相手への優しい心遣いのことです。

攻撃的な言葉で相手の心を傷つけるのではなく、誰に対しても敬意をもって接し、言葉や態度・行動を通して相手をいたわり、心を癒す。それが「ケアな関わり」です。

人は、他の人からそのように接しられることで、自分は大切にされるべき存在なのだという「自己有用感」を感じ、生きて行く勇気と元気を得ることができます。

しかし、それは誰かから一方的に与えられるものではありません。生徒と生徒、生徒と先生、先生と先生が、互いを大切にしようこと、お互いを幸せにしていくのです。「リスペクトに根ざしたケアな人間関係」があるような心地よい人間関係で包まれたクラスや学年は、一人一人の「心の居場所」となり、生涯消えることのない「絆づくりの場」となります。学校で、そんな幸福を味わった人は、その後の人生においても、同様の幸せな集団を再現しようと努力していきます。

西中生の皆さんには、そんな人に育ってほしい。将来、自分が所属する集団を高め、「周りを幸せにする力」を身に付けてほしいと思っています。

人を幸せにするには、正しい考え方や豊かな人間性だけでなく、体力も精神力も学力も大事です。西中学校での様々な学びや体験を通して、「周りの人を幸せにする力」をしっかりと身に付けていって欲しいと願っています。

最後に、新型コロナウイルスの影響はまだ続きます。大切なのは、とにかく健康・安全です。引き続き感染防止対策をしっかりと取りながら、健康管理に努めて、この1年をみんなで力を合わせて頑張っていきましょう。